

EOS R シリーズ最小・最軽量のミラーレスカメラ“EOS R100”を発売 カメラ初心者でも扱いやすい手軽さと「EOS R システム」の高い撮影性能を両立

キヤノンは、カメラ初心者でも本格的な静止画・動画撮影を手軽に楽しめるエントリーユーザー向け APS-C サイズミラーレスカメラ“EOS R100”を 2023 年 6 月下旬に発売します。



EOS R100
* RF-S18-45mm F4.5-6.3 IS STM 装着時



高画質と自然なボケ味を生かした表現が可能



機動性に優れた小型・軽量ボディ

“EOS R100”は、EOS R シリーズ最小・最軽量^{※1}となる大きさ約 116.3mm（幅）×68.8mm（奥行き）×85.5mm（高さ）、質量約 356g^{※2}の小型・軽量ボディに、「EOS R システム」の高い撮影性能を凝縮したエントリーユーザー向けのミラーレスカメラです。初めてレンズ交換式カメラを使用するユーザーや、「EOS R システム」による本格的な撮影を手軽に楽しみたいユーザーのニーズに応えます。

1. 小型・軽量のエントリーモデルながら本格的な静止画・動画撮影を実現

有効画素数約 2410 万画素^{※3}の APS-C サイズ CMOS センサーや映像エンジン「DIGIC 8」、優れた描写性能を発揮する「RF レンズ」との組み合わせにより、高画質な静止画・動画撮影を実現します。スマホでは撮影が難しい自然なボケ味や暗い場所での高感度撮影など、APS-C サイズミラーレスカメラならではの表現が可能です。また、EOS R シリーズ最小・最軽量となる小型・軽量ボディにより、旅行や日常のスナップ撮影にも手軽に持ち出すことができます。

2. 快適な人物撮影を実現する高速・高精度 AF

「デュアルピクセル CMOS AF」により、最大 143 分割の測距エリアで高速・高精度な AF を実現しています。また、遠くの人物の瞳でも高精度に捉える「瞳検出^{※4}」を搭載し、サーボ AF/動画サーボ AF 時においても、動いている人物の瞳の検出に対応しています。さらに、ワンショット AF で最高約 6.5 コマ/秒、サーボ AF で最高約 3.5 コマ/秒の連続撮影^{※5}を実現しています。

3. 多様な撮影シーンに対応する動画性能

4K/24P^{※6}の高精細な動画撮影や、一瞬の動きをスロー再生でなめらかに表現する HD/120P^{※7}のハイフレームレート動画撮影を実現しています。また、動画の縦位置情報の付加を設定でき、カメラを縦にして撮影した動画をスマホなどで縦位置動画として再生できます^{※8}。さらに、動画電子 IS^{※9}の搭載により手ブレを効果的に軽減し、歩きながらの撮影など多様な撮影シーンに対応します。

※1. 2023 年 5 月 23 日時点で発売済みの EOS R シリーズのカメラにおいて。

※2. 質量は、バッテリー、カードを含む。CIPA 規格に準拠。

※3. 総画素数約 2580 万画素。使用するレンズまたは画像処理により、有効画素が減少することがあります。

※4. AF 方式「顔+追尾優先 AF」設定時に機能します。

※5. 連続撮影速度の条件およびサーボ AF 時に最高連続撮影速度に対応するレンズについては、キヤノン公式 WEB サイトをご確認ください。

※6. センサー中央部の画素をクロップした 4K UHD（23.98p/25.00p）で撮影。4K 撮影時のフォーカス方式はコントラスト AF。1 回の撮影上限時間は最大 29 分 59 秒。

※7. 120p/100p（119.88fps/100.00fps）のハイフレームレート動画撮影時は AF が固定されます。1 回の撮影上限時間は最大 7 分 29 秒。

※8. デバイスやアプリによっては縦位置で自動再生されない場合があります。

※9. 動画電子 IS 使用時は、撮影範囲が狭くなります。また、映像が拡大されるため、映像が粗くなります。

製品名	希望小売価格	発売日
EOS R100	オープン価格	2023 年 6 月下旬

-
- 一般の方のお問い合わせ先 : キヤノンお客様相談センター 0570-08-0002
 - EOS ホームページ : canon.jp/eos

〈“EOS R100”の主な特長〉

1. 小型・軽量のエントリーモデルながら本格的な静止画・動画撮影を実現

- 有効画素数約 2410 万画素の APS-C サイズ CMOS センサーや映像エンジン「DIGIC 8」、優れた描写性能を発揮する「RF レンズ」との組み合わせにより、高画質な静止画・動画撮影を実現。
- スマホでは撮影が難しい自然なボケ味や美しい解像感など、APS-C サイズミラーレスカメラならではの優れた描写力を実現。
- 静止画撮影時に常用で最高 ISO12800 の高感度撮影を実現。高感度撮影時のノイズを低減し、暗い場所でも自由度の高い撮影表現が可能。
- EOS R シリーズ最小・最軽量となる大きさ約 116.3mm（幅）×68.8mm（奥行き）×85.5mm（高さ）、質量約 356g の小型・軽量ボディを実現。旅行や日常のスナップ撮影にも手軽に持ち出すことが可能。
- 簡単に思い通りの撮影設定が可能な「クリエイティブアシスト」や、ジオラマ風や HDR 油彩調といった印象的な撮影ができる「クリエイティブフィルター」など、便利な撮影モードを搭載。カメラ初心者でも、スマホのような操作性で気軽に自分好みの画づくりが可能。



APS-C サイズミラーレスカメラならではの優れた描写力を実現



暗い場所での高感度撮影が可能

2. 快適な人物撮影を実現する高速・高精度 AF

- 各画素が撮像と位相差 AF の両方の機能を兼ねる「デュアルピクセル CMOS AF」により、高速・高精度な AF 性能を実現。また、最大で撮像面の約 88%（横）×約 100%（縦）、143 分割の測距エリアで高速・高精度なピント合わせが可能※1。
- 遠くの人物の瞳でも高精度に捉える「瞳検出」を搭載。サーボ AF／動画サーボ AF 時においても、動いている人物の瞳の検出に対応。
- ワンショット AF で最高約 6.5 コマ/秒、サーボ AF で最高約 3.5 コマ/秒の連続撮影を実現。
- 「1 点 AF」よりもさらに小さい AF フレームでフォーカスを合わせる「スポット 1 点 AF」を搭載。サーボ AF 時にも使用でき、動いている小さな被写体にもピント合わせが可能。



動きのある被写体にもピント合わせが可能



全身撮影でも高精度に瞳を検出



最適な一枚を切り取ることができる連続撮影

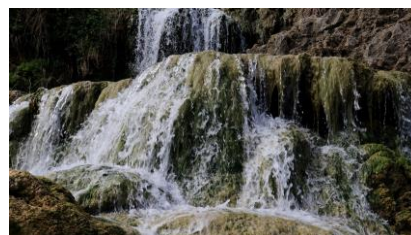
※1. 使用するレンズによっては、測距エリアが約 80%×約 80%、約 60%×約 80%になります。対応するレンズについては、キヤノン公式 WEB サイトをご確認ください。

3. 多様な撮影シーンに対応する動画性能

- 4K/24P の動画撮影により、高精細で臨場感のある表現が可能。また、一瞬の動きをスロー再生でなめらかに表現する HD/120P のハイフレームレート動画撮影を実現。
- 動画縦位置情報の付加を設定することで、カメラを縦にして撮影した動画をスマホなどで縦位置動画として再生することが可能。
- 動画電子 IS により、レンズ内 IS を搭載していないレンズであっても、手ブレを抑えた安定した動画撮影を実現。さらに、レンズ内 IS を搭載した RF レンズ装着時は、動画電子 IS とレンズ内 IS の協調制御によってブレをより効果的に軽減。歩きながらの撮影など、多様な撮影シーンに対応。
- 画面の中央部を約 3～10 倍に拡大して撮影できる動画デジタルズーム機能^{※1}を搭載。
- 一定間隔で撮影した画像を自動でつなぎ合わせ、長時間の変化をコマ送りのような動画で短時間にまとめる「4K タイムラプス動画」機能^{※2}を搭載。フル HD では捉えられなかった街並みや自然のディテールを 4K の高精細な映像で表現可能。

※1. 画像サイズがフル HD30p/25p/23.98p の時に使用可能。手持ち撮影では手ブレしやすいため、三脚の使用をお勧めします。また、ワイヤレスリモートコントローラー「BR-E1」（2017年4月発売）によるズーム操作や動画電子 IS との併用は非対応。

※2. センサー中央部の画素をクロップして撮影が行われます。AF は固定。



高精細な 4K 動画撮影が可能



スマホでの視聴に便利な縦位置動画

4. 快適な撮影をサポートする操作性・拡張性

- 約 236 万ドットの高精細電子ビューファインダー（EVF）や、指がかりの良いグリップの採用により、小型・軽量ボディを実現しながら、レンズ交換式カメラならではの本格的なホールド感を実現。
- 「RF-S レンズ」に加え、「RF レンズ^{※1}」も装着することができ、広角から望遠まで多彩な写真表現を楽しむことが可能。
- スマホなどの携帯端末への Wi-Fi/Bluetooth[®] による接続に対応^{※2}。初めにペアリング設定を行うことで、カメラとスマホ使用時に Bluetooth で自動的に接続が可能。スマホアプリ「Camera Connect」から、撮影後の画像をスマホやタブレットの大きな画面で確認することや、リモートでのライブビュー撮影などが可能。
- カメラからキヤノンのクラウドサービス「image.canon」への画像転送に対応。「image.canon」では、「Google Photos」や「Frame.io」などのウェブサービスへデータを転送でき、撮影した静止画や動画を手軽にバックアップし、編集することが可能^{※3}。

※1. 「RF5.2mm F2.8 L DUAL FISHEYE」（2021年12月発売）、「RF85mm F1.2 L USM DS」（2019年12月発売）、「エクステンダー RF2x」「エクステンダー RF1.4x」（両機種ともに2020年7月発売）は使用できません。

※2. Bluetooth Low Energy 技術に対応。以降の表記においては Bluetooth と記載。Bluetooth 機能の動作条件は、接続機器が iOS/AndroidTM:Bluetooth 4.0 以上を搭載するデバイスです。ただし、上記の動作条件を満たす機器であっても、機種によっては、Bluetooth 接続ができない場合があります。Bluetooth 接続ができない場合でも、機器と Wi-Fi 接続による画像の転送、リモート操作は可能です。なお、Bluetooth 接続には、事前にカメラと携帯端末をペアリングしておく必要があります。カメラと携帯端末の Wi-Fi や Bluetooth での接続には、キヤノン専用アプリケーション「Camera Connect」のインストールが必要です。

※3. 自動転送には、事前登録した Wi-Fi アクセスポイントに接続していることが必要です。「Google Photos」へは静止画のみ転送可能です。



小型・軽量ながら本格的なホールド感を実現



RF レンズとの組み合わせによる多彩な表現が可能
EOS R100 と RF100-400mm F5.6-8 IS USM
の組み合わせで撮影

〈商品構成（キット内容）〉

名称	内容
EOS R100・ボディ	EOS R100
EOS R100・RF-S18-45 IS STM レンズキット	EOS R100 RF-S18-45mm F4.5-6.3 IS STM
EOS R100・ダブルズームキット	EOS R100 RF-S18-45mm F4.5-6.3 IS STM RF-S55-210mm F5-7.1 IS STM

〈レンズ交換式カメラの市場動向〉

2022 年の世界のカメラ市場におけるレンズ交換式カメラの販売台数は、約 585 万台となりました。2023 年も、約 585 万台を見込んでいます。（キヤノン調べ）

〈製品仕様について〉

製品仕様の詳細はキヤノンホームページをご参照ください。<https://cweb.canon.jp/eos/lineup/r100/>

- * Wi-Fi®、Wi-Fi Alliance®、WPA™、WPA2™および Wi-Fi Protected Setup™は Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。
- * Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、キヤノン株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。
- * IOS は、米国およびその他の国々における Cisco 社の商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- * Android、Google Photos は Google LLC の商標です。
- * Frame.io はアメリカ合衆国およびその他の国々における Adobe（アドビ社）の商標または登録商標です。
- * その他、記載されている会社名、製品・サービス名は一般に各社の商標または、登録商標です。